

琉球新報掲載 2017/7/11(火)

伊平屋郷友会が 芸能の夕べ開催

浦添、300人交流

【浦添】伊平屋郷友会は6月30日、いへや照るしの会「第3回芸能の夕べ」を

浦添市てだこホールで開いた。1部では琉舞や歌謡を披露し、2部ではカラオケ大会が開かれた。訪れた約300人の関係者は、歌や踊りを楽しんだ。

会員の親睦や郷友会の活動費造成などを目的に、2年に1度、開催している。

照るしの会の東江米男会長は「伊平屋は琉球王朝の先祖の生誕地として伝統芸能が盛んだ。芸能の夕べが芸能を継続、発展させる一助になってほしい」とあいさつした。

伊平屋村の伊礼幸雄村長は「会員が各地域に根差して頑張ることが、私たちの誇りになる。会と連動して伊平屋を守っていけるように頑張りたい」と述べた。



伝統芸能を披露する伊平屋郷友会の会員。6月30日、浦添市てだこホール